

令和3年度 教育の内部質保証に関する自己点検・評価結果と対応措置の実施計画 (全学評価・FD委員会における点検・評価結果)

令和3年度は大学改革支援・学位授与機構による大学機関別認証評価を受審することから、「教育の内部質保証に係る自己点検・評価」については、認証評価の自己評価実施要項に基づき各部署で作成する領域6の自己評価書を用いて実施した。

自己点検・評価の結果、すべての基準(下記参考参照)について基準を「満たしている」との評価結果となり、自己点検・評価結果等を踏まえた改善課題及び対応措置の実施計画については、令和3年度の改善予定等として各部署から報告を受けた事項等をもとに「別紙」としてとりまとめた。

(参考) 領域6 教育課程と学習成果に関する基準

- 基準6-1 学位授与方針が具体的かつ明確であること
- 基準6-2 教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること
- 基準6-3 教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること
- 基準6-4 学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること
- 基準6-5 学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること
- 基準6-6 教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること
- 基準6-7 大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること
- 基準6-8 大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること

(参考) 神戸大学内部質保証指針(抜粋)

5 内部質保証の手順

(1) 教育の分野について

- ①教育課程については、まず、各部署が教育課程点検・評価、組織点検・評価を行い、全学評価・FD委員会において各部署からの報告をとりまとめ、全学的な点検・評価を行い、大学教育推進委員会がその点検・評価が妥当なものであるかどうかの確認等を行う。また、評価委員会によるメタ評価を経て、学長を長とする評議会がその確認等が妥当なものであるかどうかの確認等を行う。評議会の確認等の結果、課題がある場合は、大学教育推進委員会に改善を命じる。また、改善方策の進捗状況に課題がある場合も同様とする。

自己点検・評価結果を踏まえた対応措置の実施計画及び進捗状況

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠				
R3.12	<p>(機関別認証評価訪問調査後追加確認事項)</p> <p>研究指導計画を教員が策定し、学生にあらかじめ明示した上で指導することを定めた規程等や研究指導計画書の書式を提出願いたい。</p> <p>(人文学研究科、国際文化学研究科、人間発達環境学研究科、海事科学研究科、国際協力研究科)</p>	機関別認証評価訪問調査	訪問調査において指摘のあった部局については研究指導計画に係る申し合わせ等及び様式を整備する。	人文学研究科、国際文化学研究科、人間発達環境学研究科、海事科学研究科、国際協力研究科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準 6-3
R3.12	シラバスの「成績評価方法」と「成績評価基準」の扱いが教員によって異なっており、また、「成績評価方法」「成績評価基準」のいずれも抽象的な記述のものが散見される。	大学機関別認証評価(領域6)自己評価書に係る書面調査での確認事項(令和3年度教育の内部質保証に係る自己点検・評価)	シラバス作成依頼を教員あてに行う際は、シラバスの「成績評価方法」「成績評価基準」の記載例や注意事項も添付し、必要とされる記載内容の周知徹底を図る。さらに教授会等においても本件の注意喚起を行うことで改善・向上を行う。	国際人間科学部 教務委員会	<input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準 6-4

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠				
R3.12	リモート授業の増加や渡航制限が学修に影響を及ぼしていると考えられる。	修了時アンケートで「大学院課程において身に付いた能力等」が①専門知識・技は年度を追うごとに微減②幅広い教養は、2019,2020年までは40%を越えていたが、2020年は33.3%に減った。	少人数ゼミでは順次、対面授業を増やしつつある。リモート、ハイブリッド授業に使用する機材の充実化も進め、テクニカルサポートTAの配備もすでに実施。教員個々人には、大学まで来られない学生のためのリモートでの学生指導に一層細かな配慮をするように注意喚起する。	国際文化学研究科 教務学生係、各教員	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準 6-8
R3.12	設備の充実、入寮、経済支援の要求などがあった。	修了時アンケートでの記述式回答	部局として対応可能なこととして、院生室の備品については定期的に学生に希望を聞いて設備の更新をしている。また、各種奨学金の案内もしている。	国際文化学研究科 学生委員会、教務学生係	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準 6-8
R3.12	2020年のオリエンテーションのみ不参加者の数が34.1%と大きかった。	入学時・進学時アンケート	コロナ感染症の状況から急遽対面からリモートにしたため不参加率上昇。2021年4月から再び対面実施したため、参加率は例年なみ(アンケート回答者のほぼ100%参加)に回復。	国際文化学研究科 教務学生係、教務委員会、学生委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準 6-7

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠				
R3.12	シラバスの「成績評価方法」と「成績評価基準」の扱いが教員によって異なっており、また、「成績評価方法」「成績評価基準」のいずれも抽象的な記述のものが散見される。	大学機関別認証評価（領域6）自己評価書に係る書面調査での確認事項（令和3年度教育の内部質保証に係る自己点検・評価）	シラバス作成依頼を教員あてに行う際は、シラバスの「成績評価方法」「成績評価基準」の記載例や注意事項も添付し、必要とされる記載内容の周知徹底を図る。さらに教授会等においても本件の注意喚起を行うことで改善・向上を行う。	人間発達環境学研究科 教務委員会	<input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準 6-4
R3.12	「成績評価基準等に関する細則」による成績評価基準と異なる分布を示す科目がわずかではあるが存在する。	令和2年度 教育の内部質保証に関する自己点検・評価報告書	「成績評価基準等に関する細則」による成績評価基準の周知徹底に努めるとともに、基準の遵守について改善を促す。	法学部	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準 6-6
R3.12	研究指導の指導体制について、規定類が必ずしも十分ではない。	令和2年度 教育の内部質保証に関する自己点検・評価報告書（研究大学院）	令和2年度中に、研究指導の指導体制に関する規定類を整備する。	法学研究科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準 6-3
R3.12	「教育上主要と認める授業科目」の定義がない。	令和2年度 教育の内部質保証に関する自己点検・評価報告書（研究大学院）	「教育上主要と認める授業科目」を定義する。	法学研究科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準 6-4

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠				
R3.12	学生からの意見聴取による、見直したカリキュラム体系に関する点検	令和2年度 教育の内部質保証に関する自己点検・評価報告書	カリキュラム体系を見直した令和元年度の博士課程前期課程入学者が今年度末に修了を迎えるにあたり、ディプロマ・ポリシー等に関するアンケートを実施しその結果を点検する。	経済学研究科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準 6-3 基準 6-8
R3.12	学部生の英語力について、入学時から向上したと回答している学生は24.3%にとどまる。	令和2年度「卒業・修了時アンケート」	グローバル科目群の主要科目である外国書講読に加えて、外国書購読の講義的な部分を継承した大人数向けの外国文献講義をR2年度より開講している。今後英語力の推移を注視し、その効果を見極める。	経営学部	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準 6-3
R3.12	授業関連学修時間及び自主的学修時間の双方が増加傾向であるが、対面授業となった場合に、以前の水準に戻ることが懸念される。新入生の第1Qと第2Qの授業関連学修時間が著しく高くなっている。	令和2年度「学修の記録」	対面授業とオンライン授業の組み合わせ方も含め、適正な学修時間を確保できるよう検討を行っている。新入生に対して入学直後に、過度な負担がかかっているか、質の高い学修ができているかについてFD委員会で評価する。	経営学部、経営学研究科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準 6-3

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠				
R3.12	入学者進路に関して、大学院への進学と回答した学生の割合は、全学平均と比較して著しく低い。	令和3年度「入学・進学時アンケート」	説明会等で、大学院の存在や5年間で修士号を取得するKIMERAプログラムについて積極的に発信する。	経営学部、経営学研究科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準 6-3
R3.12	後期課程への進学希望者が若干減少し、民間企業への就職の割合が増加している。	令和3年度「入学・進学時アンケート」	進学を決定するにあたって重要と思われる情報を、研究科ホームページから、できるかぎり積極的に発信したい。また内部進学者を増加させる取り組みとして、大学院説明会の積極的な開催を検討したい。奨学金など経済的支援の充実について検討を行う。	経営学研究科	<input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準 6-3
R3.12	授業振り返りアンケートの回答率を高める	理学部・理学研究科の授業振り返りアンケートの回答率が、紙媒体を使用した R1 年度と比較して、web を利用した R2 年度に大きく低下した。	回答率を高める工夫について理学部・理学研究科の自己評価委員会で検討する	理学部・理学研究科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準 6-8

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠				
R3.12	授業関連学修時間の最適化	理学部生の授業関連学修時間について、R1 年度と比較して R2 年度は大きく増加した。特に 1 年生の前期の増加が大きい。	理学部教員に対して FD を行い、学修時間の最適化を呼びかけた。	理学部	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準 6-8
R3.12	遠隔授業・研究活動の改善	理学部生の卒業時アンケートで、遠隔での授業や研究活動の改善を求める学生が複数名あった。	遠隔授業に関連する FD を行う事により質の改善に努めた。また大学教育推進機構で開催される FD 研修会への参加を呼びかけた。	理学部	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準 6-8
R3.12	学生への周知手法の改善	理学研究科生の修了時アンケートで、重要な連絡事項が構内の掲示のみに掲載されることに対する改善の要望が複数名あった。	遠隔の学生にも確実に伝達する手法について理学研究科執行部を中心に検討する	理学研究科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準 6-8
R3.12	履修登録のオンライン化	令和 2 年度卒業・修了時アンケート	全ての授業科目について BEEF を使用することにより、うりぼーネットからの履修登録を実現する。	医学研究科 学務課	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準 6-5

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠				
R3.12	大学院ディプロマ・ポリシーについて、修士の学位と博士の学位に求める能力の記述に同様の点が多いことについて	大学機関別認証評価における自己評価書	令和3年度中に、大学院ディプロマ・ポリシーについて見直しを行う。	保健学研究科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準 6-1
R3.12	保健学科について、卒業率が相対的に低いことについて	大学機関別認証評価における自己評価書 令和2年度「卒業・修了時アンケート」	仮進級制度の設置	保健学研究科	<input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準 6-8
R3.12	学位論文の作成等に対する研究指導計画を学生に明示していない。	現況分析結果（教育）	研究指導計画に係る申し合わせ及び様式を作成する。	工学研究科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準 6-3
R3.12	試験終了後の定期試験問題、答案及びレポート等の保管期限についての基準がない。	現況分析結果（教育）	定期試験問題、答案及びレポート等の取扱いに関する申し合わせを作成する。	工学部・工学研究科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準 6-6

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠				
R3.12	ギャップタームが効果的に運用されていない。	現況分析結果（教育）	令和4年度入学の学生から、工学部としては2年次第2Qをギャップタームとして設定しない。	工学部	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準6-4
R3.12	学位論文の作成等に対する研究指導計画を学生に明示していない。	現況分析結果（教育）	研究指導計画に係る申し合わせ及び様式を作成する。	システム情報学研究所	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準6-3
R3.12	試験終了後の定期試験問題、答案及びレポート等の保管期限についての基準がない。	現況分析結果（教育）	定期試験問題、答案及びレポート等の取扱いに関する申し合わせを作成する。	システム情報学研究所	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準6-6

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠				
R3.12	国際的な交流・教育プログラムが用意されており、一定の成果が得られているが、卒業時・修了時や、卒業・修了5年後のアンケートで、外国語能力や国際性に関する評価が低い。	外部評価報告書 2020	UPLB（フィリピン大学ロスバニョス校）教授による英語プレゼンテーション技術講義のさらなる充実化を計画している。これまでは、UPLB 教授 1 名を招聘して 5 日間の集中講義として行ってきたが、R3 年度は Zoom と Google Classroom を併用したオンライン講義として、半期にわたり行った。全員を対象とした 8 回の Zoom 講義でポイントの解説を行うとともに、UPLB 教授 3 名が分担してマンツーマンレッスンを行った。これらの教育方針により、卒業時アンケートでは、「十分身についた」「ある程度身についた」が 55.7%（2017）、63.2%（2018）、66.2%（2019）と順調に上昇傾向にある。	農学部，農学研究科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準 6-3

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠				
R3.12	シラバス記載事項を周知徹底し、組織的に評価確認する（特に個人指導科目について）	R3 認証評価の結果を教育タスクフォースで検討した結果	組織的に評価確認する方法をR3 年度後期より確立し実施	国際協力研究科 事務（教務係）/合同 教務委員会/評価 FD 委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準 6-4 基準 6-6
R3.12	後期課程学生に関する研究指導計画制度を明確化する	R3 認証評価の結果を教育タスクフォースで検討した結果	従来の研究計画書を指導計画書として有効活用する方法を確立し、R4 年度より実施できるよう準備	国際協力研究科 合同教務委員会/運営委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準 6-3
R3.12	本研究科で使用している研究指導計画書、および研究指導報告書の取扱いについて、明文化する必要がある。	令和 3 年度自己点検・評価	取扱いを定めた申合せを策定する。	科学技術イノベーション研究科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準 6-3

教育課程に関する自己点検・評価結果を踏まえた対応措置の実施計画の進捗状況

（改善・向上が必要とされた事項）

* 「改善・向上が必要とされた事項」が複数ある場合は、1 事項につき 1 枚で作成下さい。

<p>① 担当委員会 (担当委員会を ■にしてください。)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 大学教育推進委員会 <input type="checkbox"/> 施設マネジメント委員会 <input type="checkbox"/> 情報委員会 <input type="checkbox"/> 附属図書館運営委員会 <input type="checkbox"/> 学生委員協議会 <input type="checkbox"/> 留学生委員会 <input type="checkbox"/> 入試委員会</p>	
年月	令和3年12月	
② 改善・向上が必要とされた事項		
内容	機関別認証評価訪問調査後の追加確認事項として、下記の指摘があった。 「研究指導計画を教員が策定し、学生にあらかじめ明示した上で指導することを定めた規程等や研究指導計画書の書式を提出願いたい。」	
根拠	機関別認証評価訪問調査後の追加確認事項	
計画の実施主体	人文学研究科、国際文化学研究科、人間発達環境学研究科、海事科学研究科、国際協力研究科	
対応計画 (改善方策)	研究指導計画に係る申し合わせ等及び様式を整備する。	
計画の進捗状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
前回確認時 (R4.1.20 教育研究評議会)からの進捗状況	大学改革支援・学位授与機構 (NIAD-QE) が実施する認証評価に係る訪問調査 (12/3) での指摘を踏まえ、上記5研究科では12月から1月にかけて検討を進め、申し合わせ等及び書式の策定、改定について審議決定した。	
今後の予定		
③ 自己点検・評価実施状況 (スケジュール)		
・点検・評価の実施	・12月16日 全学評価・FD委員会 ・1月6日 大学教育推進委員会	
・評価結果の点検・評価	・1月13日 評価委員会	
・対応措置の承認	・1月20日 教育研究評議会	
・進捗確認	・4月21日 教育研究評議会	

**教育課程に関する自己点検・評価結果を踏まえた対応措置の実施計画の進捗状況
(改善・向上が必要とされた事項)**

* 「改善・向上が必要とされた事項」が複数ある場合は、1事項につき1枚で作成下さい。

<p>① 担当委員会 (担当委員会を ■にしてください。)</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 大学教育推進委員会 <input type="checkbox"/> 施設マネジメント委員会 <input type="checkbox"/> 情報委員会 <input type="checkbox"/> 附属図書館運営委員会 <input type="checkbox"/> 学生委員協議会 <input type="checkbox"/> 留学生委員会 <input type="checkbox"/> 入試委員会 </p>	
<p>年月</p>	<p>令和3年12月</p>	
<p>② 改善・向上が必要とされた事項</p>		
<p>内容</p>	<p>シラバスの「成績評価方法」と「成績評価基準」の扱いが教員によって異なっており、また、「成績評価方法」「成績評価基準」のいずれも抽象的な記述のものが散見される。</p>	
<p>根拠</p>	<p>大学機関別認証評価(領域6)自己評価書に係る書面調査での確認事項(令和3年度教育の内部質保証に係る自己点検・評価)</p>	
<p>計画の実施主体</p>	<p>国際人間科学部 教務委員会</p>	
<p>対応計画 (改善方策)</p>	<p>シラバス作成依頼を教員あてに行う際は、シラバスの「成績評価方法」「成績評価基準」の記載例や注意事項も添付し、必要とされる記載内容の周知徹底を図る。さらに教授会等においても本件の注意喚起を行うことで改善・向上を行う。</p>	
<p>計画の進捗状況</p>	<p> <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他() </p>	
<p>前回確認時 (R4.1.20 教育研究評議会)からの進捗状況</p>	<p>令和3年度のシラバスにおける改善が必要な個所は、11月末から12月初めにかけて関係する教務委員等で点検を行った上で該当教員へ連絡し、改善を行った。</p> <p>令和4年度のシラバスについては、1月末から2月にかけて教員へ作成依頼を行ったが、その際、「成績評価方法」「成績評価基準」の詳細な記載例や注意事項も添付し、記載内容については注意喚起を行った。併せて、3月の教授会等でも記載内容について注意喚起を行った。</p>	
<p>今後の予定</p>	<p>※いつまでに、実行するかも含めて記載ください。</p>	
<p>③ 自己点検・評価実施状況(スケジュール)</p>		
<p>・点検・評価の実施</p>	<p> ・12月16日 全学評価・FD委員会 ・1月6日 大学教育推進委員会 </p>	
<p>・評価結果の点検・評価 ・対応措置の承認</p>	<p> ・1月13日 評価委員会 ・1月20日 教育研究評議会 </p>	
<p>・進捗確認</p>	<p>・4月21日 教育研究評議会</p>	

**教育課程に関する自己点検・評価結果を踏まえた対応措置の実施計画の進捗状況
(改善・向上が必要とされた事項)**

* 「改善・向上が必要とされた事項」が複数ある場合は、1事項につき1枚で作成下さい。

<p>① 担当委員会 (担当委員会を ■にしてください。)</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 大学教育推進委員会 <input type="checkbox"/> 施設マネジメント委員会 <input type="checkbox"/> 情報委員会 <input type="checkbox"/> 附属図書館運営委員会 <input type="checkbox"/> 学生委員協議会 <input type="checkbox"/> 留学生委員会 <input type="checkbox"/> 入試委員会 </p>	
<p>年月</p>	<p>令和3年12月</p>	
<p>② 改善・向上が必要とされた事項</p>		
<p>内容</p>	<p>リモート授業の増加や渡航制限が学修に影響を及ぼしていると考えられる。</p>	
<p>根拠</p>	<p>修了時アンケートで「大学院課程において身に付いた能力等」が①専門知識・技は年度を追うごとに微減②幅広い教養は、2019, 2020年までは40%を越えていたが、2020年は33.3%に減った。</p>	
<p>計画の実施主体</p>	<p>国際文化科学研究科、教務学生係、各教員</p>	
<p>対応計画 (改善方策)</p>	<p>少人数ゼミでは順次、対面授業を増やしつつある。リモート、ハイブリッド授業に使用する機材の充実化も進め、テクニカルサポートTAの配備もすでに実施。教員個人には、大学まで来られない学生のためのリモートでの学生指導に一層細かな配慮をするように注意喚起する。</p>	
<p>計画の進捗状況</p>	<p> <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 () </p>	
<p>前回確認時 (R4.1.20 教育研究評議会)からの 進捗状況</p>	<p>2021年度前期に比べ、後期には少人数ゼミや一部の講義科目において対面、または一部対面の授業が2,3割増加していることが確認できた。2022年度は原則対面とする方向をすでに構成員に周知し、1月末にアンケートを行って全部対面、もしくは教育効果の観点から一部オンライン、オンデマンドを混ぜる授業の数を把握した。大学に来られない学生に対するオンライン、オンデマンドでの授業提供、教材提供には今後も配慮する。</p>	
<p>今後の予定</p>	<p>授業をさらに円滑に行うため、教室設備・機材について構成員に再度周知した。また演習室(6室)の大型パソコンつきディスプレイを更新、大教室(2室)に簡易オンライン授業システムの設備を導入するように手配済みである(いずれも3月中に実施予定)。</p>	
<p>③ 自己点検・評価実施状況(スケジュール)</p>		
<p>・点検・評価の実施</p>	<p> ・12月16日 全学評価・FD委員会 ・1月6日 大学教育推進委員会 </p>	
<p>・評価結果の点検・評価 ・対応措置の承認</p>	<p> ・1月13日 評価委員会 ・1月20日 教育研究評議会 </p>	
<p>・進捗確認</p>	<p>・4月21日 教育研究評議会</p>	

**教育課程に関する自己点検・評価結果を踏まえた対応措置の実施計画の進捗状況
(改善・向上が必要とされた事項)**

* 「改善・向上が必要とされた事項」が複数ある場合は、1事項につき1枚で作成下さい。

<p>① 担当委員会 (担当委員会を ■にしてください。)</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 大学教育推進委員会 <input type="checkbox"/> 施設マネジメント委員会 <input type="checkbox"/> 情報委員会 <input type="checkbox"/> 附属図書館運営委員会 <input type="checkbox"/> 学生委員協議会 <input type="checkbox"/> 留学生委員会 <input type="checkbox"/> 入試委員会 </p>	
<p>年月</p>	<p>令和3年12月</p>	
<p>② 改善・向上が必要とされた事項</p>		
<p>内容</p>	<p>シラバスの「成績評価方法」と「成績評価基準」の扱いが教員によって異なっており、また、「成績評価方法」「成績評価基準」のいずれも抽象的な記述のものが散見される。</p>	
<p>根拠</p>	<p>大学機関別認証評価(領域6)自己評価書に係る書面調査での確認事項(令和3年度教育の内部質保証に係る自己点検・評価)</p>	
<p>計画の実施主体</p>	<p>人間発達環境学研究科 教務委員会</p>	
<p>対応計画 (改善方策)</p>	<p>シラバス作成依頼を教員あてに行う際は、シラバスの「成績評価方法」「成績評価基準」の記載例や注意事項も添付し、必要とされる記載内容の周知徹底を図る。さらに教授会等においても本件の注意喚起を行うことで改善・向上を行う。</p>	
<p>計画の進捗状況</p>	<p> <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他() </p>	
<p>前回確認時 (R4.1.20 教育研究評議会)からの進捗状況</p>	<p>令和3年度のシラバスにおける改善が必要な個所は、11月末から12月初めにかけて関係する教務委員等で点検を行った上で該当教員へ個別に連絡し、改善を行った。 令和4年度のシラバスについては、1月末から2月にかけて教員へ作成依頼を行ったが、その際、「成績評価方法」「成績評価基準」の詳細な記載例や注意事項も添付し、記載内容については注意喚起を行った。併せて、3月の教授会等でも記載内容について注意喚起を行った。</p>	
<p>今後の予定</p>	<p>※いつまでに、実行するかも含めて記載ください。</p>	
<p>③ 自己点検・評価実施状況(スケジュール)</p>		
<p>・点検・評価の実施</p>	<p> ・12月16日 全学評価・FD委員会 ・1月6日 大学教育推進委員会 </p>	
<p>・評価結果の点検・評価 ・対応措置の承認</p>	<p> ・1月13日 評価委員会 ・1月20日 教育研究評議会 </p>	
<p>・進捗確認</p>	<p>・4月21日 教育研究評議会</p>	

**教育課程に関する自己点検・評価結果を踏まえた対応措置の実施計画の進捗状況
(改善・向上が必要とされた事項)**

* 「改善・向上が必要とされた事項」が複数ある場合は、1事項につき1枚で作成下さい。

<p>① 担当委員会 (担当委員会を ■にしてください。)</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 大学教育推進委員会 <input type="checkbox"/> 施設マネジメント委員会 <input type="checkbox"/> 情報委員会 <input type="checkbox"/> 附属図書館運営委員会 <input type="checkbox"/> 学生委員協議会 <input type="checkbox"/> 留学生委員会 <input type="checkbox"/> 入試委員会 </p>	
<p>年月</p>	<p>令和3年12月</p>	
<p>② 改善・向上が必要とされた事項</p>		
<p>内容</p>	<p>「成績評価基準等に関する細則」による成績評価基準と異なる分布を示す科目がわずかではあるが存在する。</p>	
<p>根拠</p>	<p>令和2年度 教育の内部質保証に関する自己点検・評価報告書</p>	
<p>計画の実施主体</p>	<p>法学部</p>	
<p>対応計画 (改善方策)</p>	<p>「成績評価基準等に関する細則」による成績評価基準の周知徹底に努めるとともに、基準の遵守について改善を促す。</p>	
<p>計画の進捗状況</p>	<p> <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 () </p>	
<p>前回確認時 (R4.1.20 教育研究評議会)からの 進捗状況</p>	<p>教授会等にて各教員に「成績評価基準等に関する細則」による成績評価基準について周知し、基準の遵守を促した。</p>	
<p>今後の予定</p>	<p>※いつまでに、実行するかも含めて記載ください。</p>	
<p>③ 自己点検・評価実施状況 (スケジュール)</p>		
<p>・点検・評価の実施</p>	<p> ・12月16日 全学評価・FD委員会 ・1月6日 大学教育推進委員会 </p>	
<p>・評価結果の点検・評価 ・対応措置の承認</p>	<p> ・1月13日 評価委員会 ・1月20日 教育研究評議会 </p>	
<p>・進捗確認</p>	<p>・4月21日 教育研究評議会</p>	

**教育課程に関する自己点検・評価結果を踏まえた対応措置の実施計画の進捗状況
(改善・向上が必要とされた事項)**

* 「改善・向上が必要とされた事項」が複数ある場合は、1事項につき1枚で作成下さい。

<p>① 担当委員会 (担当委員会を ■にしてください。)</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 大学教育推進委員会 <input type="checkbox"/> 施設マネジメント委員会 <input type="checkbox"/> 情報委員会 <input type="checkbox"/> 附属図書館運営委員会 <input type="checkbox"/> 学生委員協議会 <input type="checkbox"/> 留学生委員会 <input type="checkbox"/> 入試委員会 </p>	
<p>年月</p>	<p>令和3年12月</p>	
<p>② 改善・向上が必要とされた事項</p>		
<p>内容</p>	<p>学部生の英語力について、入学時から向上したと回答している学生は24.3%にとどまる。</p>	
<p>根拠</p>	<p>令和2年度「卒業・修了時アンケート」</p>	
<p>計画の実施主体</p>	<p>経営学部</p>	
<p>対応計画 (改善方策)</p>	<p>グローバル科目群の主要科目である外国書講読に加えて、外国書購読の講義的な部分を継承した大人数向けの外国文献講義をR2年度より開講している。今後英語力の推移を注視し、その効果を見極める。</p>	
<p>計画の進捗状況</p>	<p> <input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 () </p>	
<p>前回確認時 (R4.1.20 教育研究評議会)からの 進捗状況</p>	<p>R3年度の外国文献講義は前期2科目で、延べ158名が履修した。R4年度は、外国文献講義の開講数を前年より1科目増やし、前期2科目、後期1科目を開講予定としている。</p>	
<p>今後の予定</p>	<p>R4年度に、外国文献講義を前期2科目、後期1科目開講する。その効果について、注意深くモニタリングし、状況が改善できなければ、別の方策を検討する。</p> <p>※いつまでに、実行するかも含めて記載ください。</p>	
<p>③ 自己点検・評価実施状況 (スケジュール)</p>		
<p>・点検・評価の実施</p>	<p> ・12月16日 全学評価・FD委員会 ・1月6日 大学教育推進委員会 </p>	
<p>・評価結果の点検・評価 ・対応措置の承認</p>	<p> ・1月13日 評価委員会 ・1月20日 教育研究評議会 </p>	
<p>・進捗確認</p>	<p>・4月21日 教育研究評議会</p>	

**教育課程に関する自己点検・評価結果を踏まえた対応措置の実施計画の進捗状況
(改善・向上が必要とされた事項)**

* 「改善・向上が必要とされた事項」が複数ある場合は、1事項につき1枚で作成下さい。

<p>① 担当委員会 (担当委員会を ■にしてください。)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 大学教育推進委員会 <input type="checkbox"/> 施設マネジメント委員会 <input type="checkbox"/> 情報委員会 <input type="checkbox"/> 附属図書館運営委員会 <input type="checkbox"/> 学生委員協議会 <input type="checkbox"/> 留学生委員会 <input type="checkbox"/> 入試委員会</p>	
<p>年月</p>	<p>令和3年12月</p>	
<p>② 改善・向上が必要とされた事項</p>		
<p>内容</p>	<p>授業関連学修時間及び自主的学修時間の双方が増加傾向であるが、対面授業となった場合に、以前の水準に戻ることが懸念される。新生生の第1Qと第2Qの授業関連学修時間が著しく高くなっている。</p>	
<p>根拠</p>	<p>令和2年度「学修の記録」</p>	
<p>計画の実施主体</p>	<p>経営学部、経営学研究科</p>	
<p>対応計画 (改善方策)</p>	<p>対面授業とオンライン授業の組み合わせ方も含め、適正な学修時間を確保できるよう検討を行っている。新生生に対して入学直後に、過度な負担がかかっているか、質の高い学修ができているかについてFD委員会で評価する。</p>	
<p>計画の進捗状況</p>	<p><input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()</p>	
<p>前回確認時 (R4.1.20 教育研究評議会)からの 進捗状況</p>	<p>新生生の授業振り返りアンケートを確認したところ、過度な負担がかかっていることは確認されなかった。対面授業とオンライン授業の組み合わせについて適切に授業計画を行った。</p>	
<p>今後の予定</p>	<p>対面授業の増加に伴い、学修時間が低下しないよう教員に周知するとともに、学修時間の状況を注視する。</p> <p>※いつまでに、実行するかも含めて記載ください。</p>	
<p>③ 自己点検・評価実施状況 (スケジュール)</p>		
<p>・点検・評価の実施</p>	<p>・12月16日 全学評価・FD委員会 ・1月6日 大学教育推進委員会</p>	
<p>・評価結果の点検・評価 ・対応措置の承認</p>	<p>・1月13日 評価委員会 ・1月20日 教育研究評議会</p>	
<p>・進捗確認</p>	<p>・4月21日 教育研究評議会</p>	

**教育課程に関する自己点検・評価結果を踏まえた対応措置の実施計画の進捗状況
(改善・向上が必要とされた事項)**

* 「改善・向上が必要とされた事項」が複数ある場合は、1事項につき1枚で作成下さい。

<p>① 担当委員会 (担当委員会を ■にしてください。)</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 大学教育推進委員会 <input type="checkbox"/> 施設マネジメント委員会 <input type="checkbox"/> 情報委員会 <input type="checkbox"/> 附属図書館運営委員会 <input type="checkbox"/> 学生委員協議会 <input type="checkbox"/> 留学生委員会 <input type="checkbox"/> 入試委員会 </p>	
<p>年月</p>	<p>令和3年12月</p>	
<p>② 改善・向上が必要とされた事項</p>		
<p>内容</p>	<p>入学者進路に関して、大学院への進学と回答した学生の割合は、全学平均と比較して著しく低い。</p>	
<p>根拠</p>	<p>令和3年度「入学・進学時アンケート」</p>	
<p>計画の実施主体</p>	<p>経営学部、経営学研究科</p>	
<p>対応計画 (改善方策)</p>	<p>説明会等で、大学院の存在や5年間で修士号を取得する KIMERA プログラムについて積極的に発信する。</p>	
<p>計画の進捗状況</p>	<p> <input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 () </p>	
<p>前回確認時 (R4.1.20 教育研究評議会)からの 進捗状況</p>	<p>学部生の研究や大学院に対する関心を高めることを目的として、末廣教授による「教授が語る研究の話会」を開催した。新入生オリエンテーションにおいて、大学院進学に関する説明を行うことを計画した。KIMERA プログラムは、部局間協定による留学派遣 (KIBER) を前提としたものである。コロナ禍にあつて KIBER による派遣が行えない状況にある。GMAPs 後継プログラムについて継続的に検討を行っている。</p>	
<p>今後の予定</p>	<p>4月の学部新入生オリエンテーションにおいて、大学院進学について説明を行う。令和4年5月に KIBER による派遣を決定する。物理的派遣が可能であれば、そのタイミングで KIMERA プログラムについて徹底した周知を行う。GMAPs 後継プログラムの詳細が確定したタイミングで、徹底した周知を行う。</p> <p align="center">※いつまでに、実行するかも含めて記載ください。</p>	
<p>③ 自己点検・評価実施状況 (スケジュール)</p>		
<p>・点検・評価の実施</p>	<p> ・12月16日 全学評価・FD委員会 ・1月6日 大学教育推進委員会 </p>	
<p>・評価結果の点検・評価 ・対応措置の承認</p>	<p> ・1月13日 評価委員会 ・1月20日 教育研究評議会 </p>	
<p>・進捗確認</p>	<p>・4月21日 教育研究評議会</p>	

**教育課程に関する自己点検・評価結果を踏まえた対応措置の実施計画の進捗状況
(改善・向上が必要とされた事項)**

* 「改善・向上が必要とされた事項」が複数ある場合は、1事項につき1枚で作成下さい。

<p>① 担当委員会 (担当委員会を ■にしてください。)</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 大学教育推進委員会 <input type="checkbox"/> 施設マネジメント委員会 <input type="checkbox"/> 情報委員会 <input type="checkbox"/> 附属図書館運営委員会 <input type="checkbox"/> 学生委員協議会 <input type="checkbox"/> 留学生委員会 <input type="checkbox"/> 入試委員会 </p>	
<p>年月</p>	<p>令和3年12月</p>	
<p>② 改善・向上が必要とされた事項</p>		
<p>内容</p>	<p>後期課程への進学希望者が若干減少し、民間企業への就職の割合が増加している。</p>	
<p>根拠</p>	<p>令和3年度「入学・進学時アンケート」</p>	
<p>計画の実施主体</p>	<p>経営学研究科</p>	
<p>対応計画 (改善方策)</p>	<p>進学を決定するにあたって重要と思われる情報を、研究科ホームページから、できるかぎり積極的に発信したい。また内部進学者を増加させる取り組みとして、大学院説明会の積極的な開催を検討したい。奨学金など経済的支援の充実について検討を行う。</p>	
<p>計画の進捗状況</p>	<p> <input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 () </p>	
<p>前回確認時 (R4.1.20 教育研究評議会)からの 進捗状況</p>	<p>新規に募集が行われた次世代研究者挑戦的研究プログラムに、16名の後期学生が採択された。また、前期大学院生の研究や後期課程進学に対する関心を高めることを目的として、末廣教授による「教授が語る研究の話会」を開催した。2つの部局内センターを設置し、大学院生に対する研究助成や経済的支援のあり方について検討を行った。</p>	
<p>今後の予定</p>	<p>令和4年度中に、部局内センターによる大学院生に対する研究助成の方法を決定し、実施する。</p> <p align="center">※いつまでに、実行するかも含めて記載ください。</p>	
<p>③ 自己点検・評価実施状況 (スケジュール)</p>		
<p>・点検・評価の実施</p>	<p> ・12月16日 全学評価・FD委員会 ・1月6日 大学教育推進委員会 </p>	
<p>・評価結果の点検・評価 ・対応措置の承認</p>	<p> ・1月13日 評価委員会 ・1月20日 教育研究評議会 </p>	
<p>・進捗確認</p>	<p>・4月21日 教育研究評議会</p>	

**教育課程に関する自己点検・評価結果を踏まえた対応措置の実施計画の進捗状況
(改善・向上が必要とされた事項)**

* 「改善・向上が必要とされた事項」が複数ある場合は、1事項につき1枚で作成下さい。

<p>① 担当委員会 (担当委員会を ■にしてください。)</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 大学教育推進委員会 <input type="checkbox"/> 施設マネジメント委員会 <input type="checkbox"/> 情報委員会 <input type="checkbox"/> 附属図書館運営委員会 <input type="checkbox"/> 学生委員協議会 <input type="checkbox"/> 留学生委員会 <input type="checkbox"/> 入試委員会 </p>	
年月	令和3年12月	
② 改善・向上が必要とされた事項		
内容	授業振り返りアンケートの回答率を高める	
根拠	理学部・理学研究科の授業振り返りアンケートの回答率が、紙媒体を使用した R1 年度と比較して、web を利用した R2 年度に大きく低下した。	
計画の実施主体	理学部・理学研究科	
対応計画 (改善方策)	回答率を高める工夫について理学部・理学研究科の自己評価委員会で検討する。	
計画の進捗状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
前回確認時 (R4.1.20 教育研究評議会)からの進捗状況	自己評価委員会での検討を行い、1. 学生・教員への依頼を徹底する、2. 紙媒体の時にはとっていた「回答のための時間」を講義ないし試験の時に確保する、の2つの対応を行うこととし、R3年11月12日、およびR4年1月13日に教員あてに依頼を行った。	
今後の予定	R3年度の授業振り返りアンケートの集計結果を確認し、さらなる対策が必要かどうか検討する。 ※いつまでに、実行するかも含めて記載ください。	
③ 自己点検・評価実施状況 (スケジュール)		
・点検・評価の実施	・12月16日 全学評価・FD委員会 ・1月6日 大学教育推進委員会	
・評価結果の点検・評価	・1月13日 評価委員会	
・対応措置の承認	・1月20日 教育研究評議会	
・進捗確認	・4月21日 教育研究評議会	

教育課程に関する自己点検・評価結果を踏まえた対応措置の実施計画の進捗状況
(改善・向上が必要とされた事項)

* 「改善・向上が必要とされた事項」が複数ある場合は、1 事項につき 1 枚で作成下さい。

<p align="center">① 担当委員会 (担当委員会を <input checked="" type="checkbox"/>にしてください。)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 大学教育推進委員会 <input type="checkbox"/> 施設マネジメント委員会 <input type="checkbox"/> 情報委員会 <input type="checkbox"/> 附属図書館運営委員会 <input type="checkbox"/> 学生委員協議会 <input type="checkbox"/> 留学生委員会 <input type="checkbox"/> 入試委員会</p>	
<p>年月</p>	<p>令和3年12月</p>	
<p align="center">② 改善・向上が必要とされた事項</p>		
<p>内容</p>	<p>学生への周知手法の改善</p>	
<p>根拠</p>	<p>理学研究科生の修了時アンケートで、重要な連絡事項が構内の掲示のみに掲載されることに対する改善の要望が複数名あった。</p>	
<p>計画の実施主体</p>	<p>理学研究科</p>	
<p>対応計画 (改善方策)</p>	<p>遠隔の学生にも確実に伝達する手法について理学研究科執行部を中心に検討する。</p>	
<p>計画の進捗状況</p>	<p><input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()</p>	
<p>前回確認時 (R4.1.20 教育研究評議会)からの 進捗状況</p>	<p>理学研究科執行部及び教務学生係スタッフで対応を検討し、教務関係の通知はうりぼーネット掲示板に全て掲載する改善案を作成した。R3年11月17日の学科長・専攻長会議においてこの改善案を試行することとし、R4年1月から試行を開始した。</p>	
<p>今後の予定</p>	<p>R3年度末まで試行を行い、実際の業務負荷を確認する。特に問題がなければR4年度も試行を継続し、新入生ガイダンス等で通知の改善試行について学生に伝える。試行状況の確認後、R5年度の学生便覧での通知に関する記載内容の見直しを行う。 ※いつまでに、実行するかも含めて記載ください。</p>	
<p align="center">③ 自己点検・評価実施状況 (スケジュール)</p>		
<p>・点検・評価の実施</p>	<p>・12月16日 全学評価・FD委員会 ・1月6日 大学教育推進委員会</p>	
<p>・評価結果の点検・評価 ・対応措置の承認</p>	<p>・1月13日 評価委員会 ・1月20日 教育研究評議会</p>	
<p>・進捗確認</p>	<p>・4月21日 教育研究評議会</p>	

**教育課程に関する自己点検・評価結果を踏まえた対応措置の実施計画の進捗状況
(改善・向上が必要とされた事項)**

* 「改善・向上が必要とされた事項」が複数ある場合は、1事項につき1枚で作成下さい。

<p>① 担当委員会 (担当委員会を ■にしてください。)</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 大学教育推進委員会 <input type="checkbox"/> 施設マネジメント委員会 <input type="checkbox"/> 情報委員会 <input type="checkbox"/> 附属図書館運営委員会 <input type="checkbox"/> 学生委員協議会 <input type="checkbox"/> 留学生委員会 <input type="checkbox"/> 入試委員会 </p>	
<p>年月</p>	<p>令和3年12月</p>	
<p>② 改善・向上が必要とされた事項</p>		
<p>内容</p>	<p>大学院ディプロマ・ポリシーについて、修士の学位と博士の学位に求める能力の記述に同様の点が多いことについて</p>	
<p>根拠</p>	<p>大学機関別認証評価における自己評価書</p>	
<p>計画の実施主体</p>	<p>保健学研究科</p>	
<p>対応計画 (改善方策)</p>	<p>令和3年度中に、大学院ディプロマ・ポリシーについて見直しを行う。</p>	
<p>計画の進捗状況</p>	<p> <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 () </p>	
<p>前回確認時 (R4.1.20 教育研究評議会)からの進捗状況</p>	<p>大学改革支援・学位授与機構 (NIAD-QE) が実施する認証評価に係る訪問調査 (12/3) での指摘を踏まえ、検討を進め、DPについて見直しを行った。</p>	
<p>今後の予定</p>	<p>※いつまでに、実行するかも含めて記載ください。</p>	
<p>③ 自己点検・評価実施状況 (スケジュール)</p>		
<p>・点検・評価の実施</p>	<p> ・12月16日 全学評価・FD委員会 ・1月6日 大学教育推進委員会 </p>	
<p>・評価結果の点検・評価 ・対応措置の承認</p>	<p> ・1月13日 評価委員会 ・1月20日 教育研究評議会 </p>	
<p>・進捗確認</p>	<p>・4月21日 教育研究評議会</p>	

**教育課程に関する自己点検・評価結果を踏まえた対応措置の実施計画の進捗状況
(改善・向上が必要とされた事項)**

* 「改善・向上が必要とされた事項」が複数ある場合は、1事項につき1枚で作成下さい。

① 担当委員会 (担当委員会を ■にしてください。)	<input checked="" type="checkbox"/> 大学教育推進委員会 <input type="checkbox"/> 施設マネジメント委員会 <input type="checkbox"/> 情報委員会 <input type="checkbox"/> 附属図書館運営委員会 <input type="checkbox"/> 学生委員協議会 <input type="checkbox"/> 留学生委員会 <input type="checkbox"/> 入試委員会	
年月	令和3年12月	
② 改善・向上が必要とされた事項		
内容	保健学科について、卒業率が相対的に低いことについて	
根拠	大学機関別認証評価における自己評価書 令和2年度「卒業・修了時アンケート」	
計画の実施主体	保健学研究科	
対応計画 (改善方策)	仮進級制度の設置	
計画の進捗状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
前回確認時 (R4.1.20 教育研究評議会)からの進捗状況	遠隔地キャンパス(名谷地区)で2年次以降専門科目を履修する保健学科学生に対して、2年次仮進級を導入した場合に国際教養教育院で開講される科目が再履修可能となるよう、国際教養教育院で開講する科目に関して、各教育部会で検討して頂き、遠隔授業(オンデマンド中心)で開講する科目を10科目以上選定頂き、仮進級可能な履修環境を整えていただいた。	
今後の予定	国際教養教育院で遠隔授業(オンデマンド中心)として開講する科目に関して、令和4年度は暫定的である。令和5年度以降恒久的な遠隔授業開講が行われる予定であり、令和5年度入学者より、2年次仮進級を導入・適応すべく、規則改正を令和4年度に行う予定である。 ※いつまでに、実行するかも含めて記載ください。	
③ 自己点検・評価実施状況(スケジュール)		
・点検・評価の実施	・12月16日 全学評価・FD委員会 ・1月6日 大学教育推進委員会	
・評価結果の点検・評価 ・対応措置の承認	・1月13日 評価委員会 ・1月20日 教育研究評議会	
・進捗確認	・4月21日 教育研究評議会	

**教育課程に関する自己点検・評価結果を踏まえた対応措置の実施計画の進捗状況
(改善・向上が必要とされた事項)**

* 「改善・向上が必要とされた事項」が複数ある場合は、1事項につき1枚で作成下さい。

<p>① 担当委員会 (担当委員会を ■にしてください。)</p>	<p>■ 大学教育推進委員会 □ 施設マネジメント委員会 □ 情報委員会 □ 附属図書館運営委員会 □ 学生委員協議会 □ 留学生委員会 □ 入試委員会</p>	
年月	令和3年12月	
② 改善・向上が必要とされた事項		
内容	ギャップタームが効果的に運用されていない。	
根拠	現況分析結果(教育)	
計画の実施主体	工学部	
対応計画 (改善方策)	令和4年度入学の学生から、工学部としては2年次第2Qをギャップタームとして設定しない。	
計画の進捗状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他()	
前回確認時 (R4.1.20 教育研究評議会)からの 進捗状況	運営会議において、2年次第2Qはギャップタームとして設定せず、効果的な授業カリキュラムを編成できるようにした。一方で、夏休み期間に「チャレンジターム」を新たに設定し、留学等の対外活動を引き続き行えるようにした。	
今後の予定		
③ 自己点検・評価実施状況(スケジュール)		
・点検・評価の実施	・12月16日 全学評価・FD委員会 ・1月6日 大学教育推進委員会	
・評価結果の点検・評価 ・対応措置の承認	・1月13日 評価委員会 ・1月20日 教育研究評議会	
・進捗確認	・4月21日 教育研究評議会	

学生受入に係る自己点検・評価の実施について

令和3年10月21日付「教育課程、学生の受入並びに附属図書館の施設及び設備に関する自己点検・評価結果及び自己点検・評価結果を踏まえた対応措置の実施計画の提出について（依頼）」（別紙1）を受け、次のとおり学生受入に係る自己点検・評価を実施する。

実施にあたっては、入学者選抜に係る内部質保証実施要項（令和3年2月26日入学試験委員会改定）（別紙2）に基づき行うものとする。

【評価事項】

- (1) 学生受入方針（以下「AP」という。）に関すること
APの改善状況について評価を行う。

【評価結果】

学生受入方針に関しては、令和元年度に、これまでのAPの考え方を踏襲しつつ、次の点について、大学全体、各学部、各大学院について受入方針を改定した。

- ・入学前に学習しておくことが期待される内容の明記
- ・APを具現化するために評価方法を明記
- ・受け入れる学生に求める学力の3要素の明記

令和2年度については、令和元年度の改定により改善を実施済みのため、大幅な改定は実施しておらず、学生受入方針に関して順調に進んでいることを確認した。

- (2) 学生の受入の実施に関すること

入学者選抜の重要な変更に関すること（主に2年前予告に関する事項）や入試ミスの発生状況に関する事項等により評価を行う。（別添資料1-1、1-2）

【評価結果】

学生の受入の実施に関し、点検評価の結果、一部の学部・研究科において入試方法を変更する等、概ね順調に進んでいることを確認した。

なお、一部の学部・研究科において入試ミスが発生したが、適切に対応するとともに対応策を定め実施していることを確認した。

- (3) 入学者数、入学定員等に関すること

それぞれの学部・研究科における入学者数、入学定員等について評価を行う。（別添資料2）

【評価結果】

入学者数、入学定員等に関し、点検評価の結果、概ね順調に受け入れていることを確認した。

なお、入学定員の充足率が2年連続で基準を満たしていない一部の研究科については、改善策を検討し、適切に対応を進めていることを確認した。

**学生の受入に関する自己点検・評価結果を踏まえた対応措置の実施計画の進捗状況
(改善・向上が必要とされた事項)**

※ 「改善・向上が必要とされた事項」が複数ある場合は、1事項につき1枚で作成下さい。

<p>① 担当委員会 (担当委員会を■にして ください。)</p>	<p><input type="checkbox"/> 大学教育推進委員会 <input type="checkbox"/> 施設マネジメント委員会 <input type="checkbox"/> 情報委員会 <input type="checkbox"/> 附属図書館運営委員会 <input type="checkbox"/> 学生委員協議会 <input type="checkbox"/> 留学生委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 入試委員会</p>	
<p>年 月</p>	<p>・12月16日</p>	
<p>② 改善・向上が必要とされた事項 (記載にあたっては、NIAD「基準ごとの分析を行う際の手順等について」37-42頁をご参照ください。)</p>		
<p>内 容</p>	<p>学生受入方針、学生の受入の実施及び入学者数・入学定員等に関し、点検評価の結果、概ね順調に進んでいることを確認した。</p>	
<p>根 拠</p>	<p>学生受入方針に関しては、令和元年度の改定により改善を実施済みであり、順調に進んでいることを確認している。 学生の受け入れに関しては、一部の学部・研究科において入試方法を変更する等、概ね順調に進んでおり、一部入試ミスが発生したが、適切に対応するとともに対応策を定め実施していることを確認している。 入学者数、入学定員等に関しては、入学定員の充足率が2年連続で基準を満たしていない一部の研究科については改善策を検討し、適切に対応を進めていることを確認している。</p>	
<p>計画の実施主体</p>		
<p>対 応 計 画 (改善方策)</p>	<p>対応済み</p>	
<p>計画の進捗状況</p>	<p>※現時点での状況を記載ください。 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()</p>	

<p>前回確認時 (R4. 1. 20 教育研究評議会) からの進捗状況</p>	<p>対応済みであり、特に進捗なし。</p>
<p>今後の予定</p>	<p>対応済みであり、必要に応じて適切に対応する。</p> <p>※いつまでに、実行するかも含めて記載ください。</p>

③ 自己点検・評価実施状況（スケジュール）

<p>・点検・評価の実施</p>	<p>・12月16日 入試委員会</p>
<p>・評価結果の点検・評価</p>	<p>・1月13日 評価委員会</p>
<p>・対応措置の承認</p>	<p>・1月20日 教育研究評議会</p>
<p>・進捗確認</p>	<p>・4月21日 教育研究評議会</p>

※ 記載いただいた改善計画等については、自己評価書（別紙様式 2-3-1）に盛り込む予定です。

附属図書館に関する自己点検・評価の実施について

令和3年10月21日付「教育課程、学生の受入並びに附属図書館の施設及び設備に関する自己点検・評価結果及び自己点検・評価結果を踏まえた対応措置の実施計画の提出について（依頼）」を受け、次のとおり附属図書館に関する自己点検・評価を実施した。

実施にあたっては、附属図書館における内部質保証実施要項（令和2年11月5日附属図書館運営委員会承認）に基づき行うものとし、令和3年度第2回附属図書館運営委員会（令和3年11月2日開催）にて、令和2年度神戸大学附属図書館年次報告（案）の確認をもって第4条第1項に規定する報告を行い、第3回附属図書館運営委員会（令和3年12月9日～16日メール審議開催）にて第4条第2項に規定する改善事項の審議を行った。

【評価事項①】

- ・附属図書館において、教育研究上必要な資料が利用可能な状態に整備され、有効に活用されていること。

【評価結果①】

- ・学生用資料整備：

各館室の学生用資料整備は図書館予算から各館室に配分した経費と各館室のサービス対象部局から拠出された経費を合わせて実施されている。本年度の図書館予算は、前年度より0.9%減の40,000千円とした。また、前年度に整備した学生用図書を選定評価を実施し、構成と利用の面で選定が適切に行われたことが確認された。

今後も厳しい予算状況が続くと見込まれるが、教育・学習活動の支援のため現行の予算規模の維持を目指すと共に、コンテンツへのアクセス可能性を担保・拡充するために冊子のみならず電子ブックを含めたリソース構築を目指す必要がある。

- ・研究用資料の整備：

第3期中期計画後半（令和元～3年度）の教育研究基盤資料整備費について、平成30年5月の部局長会議での承認に基づき、本年度は「教育研究基盤資料整備費」約3.67億円（決算ベース）が措置され、電子ジャーナル及びデータベースは平成27年度の契約規模を維持することができた。

第4期中期計画前半（令和4～6年度）の教育研究基盤資料整備費による整備方針について、令和2年10月8日の部局長会議において、上限4.1億円として承認を得た。

附属図書館運営経費は、令和元年度より約428万円減（1.6%減）の予算により、図書資料費（学生用資料費・e-study資料費・震災文庫資料費・外国雑誌センター館経費）の確保が困難となっているが、本年度は令和元年度と同額の約0.72億円の予算を確保した。しかし資料本体の値上げ等により、全体の購入資料数は減少を続けている。

本年度は、神戸大学の事業を支援することを目的として大学機能強化支援資料費を計上し、教員と連携してV.School・SDGs関連図書を選書購入し、総合・国際文化学図書館に配架した。

外国雑誌センター予算については、令和元年度と同予算額（27,000千円）を確保した。令和元年度にパッケージ購読を開始しタイトル契約数を増やしたことにより、EJ利用数やILL受付件数が増えた。このことから資料の利便性が向上したと推測できる。

- ・電子的情報基盤の整備：

本年度末における電子ジャーナル購読数は36,418タイトル、総ダウンロード数は教育研究

基盤資料整備事業によるもので約 130 万件と、総体として非常によく利用されており、必須の教育研究基盤資料となっている。電子ジャーナル購読数は令和元年度の規模を維持している。

国際的には、アクセスを確保するため購読料を負担するモデルから出版費用を拠出し論文をオープンアクセスとするモデルへの転換を図る動きが現れており、今後はこのような転換も視野に入れ、学術情報流通全体の中で基盤整備のあり方を捉え直していく必要がある。

・開館サービス：

新型コロナウイルス感染症流行下における入構制限等に対応した臨時休館や利用制限を行った。これを反映し、年間総入館者数は約 7.6 万人で前年度比 9%となった。入館者数の減少には閲覧席の利用停止・制限が影響しているとみられ、感染症の流行によって学習場所としての図書館の重要性が明らかになった。また非来館型のサービスの重要性が明らかになったことから、開館サービスのみではない図書館の利用指標の設定が今後の課題となった。

・資料提供サービスと利用促進：

学生への年間貸出総冊数は約 9 万冊で、前年度比 44%となった。この数字は入館者数（同 9%）と比べると減少幅が小さく、利用制限下においても資料提供サービスの面では図書館としての役割を一定程度維持できていたと評価できる。

来館が難しい学生を対象とした郵送貸出の実施の他、利用促進においても非来館型の取り組みを行い、電子ブックを利用した「仮想展示」や、イベント「オンライン読書室」を実施した。

・資料の保存：

資料収容力確保のため「整備指針」の改正と「実務指針」の見直しを行い、情報管理課に資料整備担当を設置するなど資料保存における具体的な対応策に取り組んだ。今後は自然科学系図書館の増築部分に共同利用書庫が新設され、附属図書館全体における体系的な資料整備が進むことが期待される。突発的な空調機の故障や豪雨に伴う雨漏りなどに備え、資料保存の適切な環境整備になお一層努めていく必要がある。

【評価事項②】

- ・附属図書館の施設・設備の整備が適切に行われていること。

【評価結果②】

- ・保健科学図書室の施設改修を実施した。あわせて 1 階にラーニングcommonsを設置し、学修支援機能を強化することができた。施設部が各部局より確保して執行する建物老朽劣化対策経費により、総合・国際文化学図書館棟（A 棟）等漏水補修工事を実施した。また学内営繕・エコ対策経費により、総合・国際文化学図書館の書庫照明設備改修工事を実施した。学修支援機能の強化を目的とした LC 設置と、資料収容力強化を目的とした増床のための自然科学系図書館の施設改修概算要求が採択され、令和 3~4 年度の 2 年間で実施することとなった。次年度はこの実施が図書館での大きな課題となる。

【評価事項③】

- ・附属図書館の活動を展開するために必要な職員が配置され、適切に活用されていること。

【評価結果③】

- ・5 月時点で、附属図書館事務部は 2 課 3 グループ 11 係、定員 47 名、非常勤職員 31 名の 78 名で

あった。経済経営研究所図書係に定員 3 名、大学文書史料室に定員 2 名、非常勤職員 2 名を配置している。特に大学文書史料室の 2 年間の暫定措置とされていた再雇用職員 1 名の増員配置は、令和 3 年度より恒久的な増員配置として承認された。令和 3 年度事務組織改編が第 2 回附属図書館運営委員会にて了承された。本年度は感染症拡大防止のため対面での研修が中止となるなか、学外のオンライン研修に積極的に職員が参加した。係横断的な業務や課題解決のためのワーキンググループについては、具体的な業務目的を負ったものに絞って設置し、いずれも活発に活動し成果をあげている。

**教育課程、学生の受入並びに附属図書館の施設及び設備に関する
自己点検・評価結果を踏まえた対応措置の実施計画
(改善・向上が必要とされた事項)**

* 「改善・向上が必要とされた事項」が複数ある場合は、1事項につき1枚で作成下さい。

<p>① 担当委員会 (担当委員会を ■にしてください。)</p>	<p><input type="checkbox"/> 大学教育推進委員会 <input type="checkbox"/> 施設マネジメント委員会 <input type="checkbox"/> 情報委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 附属図書館運営委員会 <input type="checkbox"/> 学生委員協議会 <input type="checkbox"/> 留学生委員会 <input type="checkbox"/> 入試委員会</p>	
<p>年月</p>	<p>・令和3年12月</p>	
<p>② 改善・向上が必要とされた事項</p>		
<p>内容</p>	<p>コンテンツへのアクセス可能性を担保・拡充するために、冊子のみならず電子ブックを含めたリソース構築を目指す。(学生用資料整備に関する事項)</p>	
<p>根拠</p>	<p>令和2年度神戸大学附属図書館年次報告</p>	
<p>計画の実施主体</p>	<p>附属図書館事務部</p>	
<p>対応計画 (改善方策)</p>	<p>電子ブックの試行的導入を促進するため、R3年度予算で総合図書館と自然科学系図書館の2館に学生用資料費を重点配分した。</p> <p>R3年度に神戸大学基金新型コロナウイルス感染症対策緊急募金(学生)から電子ブック拡充経費として2,400千円配分を受け、計222件(シラバス掲載図書216件、参考図書6件)を購入した。</p> <p>EBA (=Evidence Based Acquisition、試用期間中の利用統計に基づき購入タイトルを選定)モデルによる電子ブック契約を促進した。</p>	
<p>計画の進捗状況</p>	<p><input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()</p>	
<p>③ 自己点検・評価実施状況(スケジュール)</p>		
<p>・点検・評価の実施</p>	<p>・12月16日 附属図書館運営委員会</p>	
<p>・評価結果の点検・評価</p>	<p>・1月13日 評価委員会</p>	
<p>・対応措置の承認</p>	<p>・1月20日 教育研究評議会</p>	
<p>・進捗確認</p>	<p>・3月17日 教育研究評議会</p>	

**教育課程、学生の受入並びに附属図書館の施設及び設備に関する
自己点検・評価結果を踏まえた対応措置の実施計画
(改善・向上が必要とされた事項)**

* 「改善・向上が必要とされた事項」が複数ある場合は、1事項につき1枚で作成下さい。

① 担当委員会 (担当委員会を ■にしてください。)	<input type="checkbox"/> 大学教育推進委員会 <input type="checkbox"/> 施設マネジメント委員会 <input type="checkbox"/> 情報委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 附属図書館運営委員会 <input type="checkbox"/> 学生委員協議会 <input type="checkbox"/> 留学生委員会 <input type="checkbox"/> 入試委員会	
年月	・令和3年12月	
② 改善・向上が必要とされた事項		
内容	予算の縮減に対応して時間外及び土日開館業務の実施規模を見直す。 (開館サービスに関する事項・職員の配置と活用に関する事項)	
根拠	令和2年度神戸大学附属図書館年次報告	
計画の実施主体	附属図書館事務部	
対応計画 (改善方策)	重点実施館を設ける一方、その他の館は実施時間を半分にする、業務委託は中止し学生アルバイト雇用に変更する、これらの措置により経費を縮減しつつ、より効果的な予算執行の確立を目指し、本年度第2回附属図書館運営委員会にて協議した。協議継続中。	
計画の進捗状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
③ 自己点検・評価実施状況 (スケジュール)		
・点検・評価の実施	・12月16日 附属図書館運営委員会	
・評価結果の点検・評価	・1月13日 評価委員会	
・対応措置の承認	・1月20日 教育研究評議会	
・進捗確認	・3月17日 教育研究評議会	

**教育課程、学生の受入並びに附属図書館の施設及び設備に関する
自己点検・評価結果を踏まえた対応措置の実施計画
(改善・向上が必要とされた事項)**

* 「改善・向上が必要とされた事項」が複数ある場合は、1 事項につき 1 枚で作成下さい。

<p>① 担当委員会 (担当委員会を ■にしてください。)</p>	<input type="checkbox"/> 大学教育推進委員会 <input type="checkbox"/> 施設マネジメント委員会 <input type="checkbox"/> 情報委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 附属図書館運営委員会 <input type="checkbox"/> 学生委員協議会 <input type="checkbox"/> 留学生委員会 <input type="checkbox"/> 入試委員会	
年月	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 2 年 11 月 ・令和 3 年 2 月 ・令和 3 年 12 月 	
<p>② 改善・向上が必要とされた事項</p>		
内容	<p>書庫スペースの狭隘化は進んでおり、除籍基準の見直しなど対策を検討し、資料の適切な保存、書庫環境の改善など今後も努めていく必要がある。(資料の保存に関する事項) ※令和 2 年度からの継続事項</p>	
根拠	令和元（平成 3 1）年度神戸大学附属図書館年次報告	
計画の実施主体	附属図書館事務部	
対応計画 (改善方策)	<ul style="list-style-type: none"> ・R2 年 10 月、情報管理課資料整備グループに、全館室の資料整備に係る調整を行い、有効的な蔵書構成を図ることを目的に、「整備担当」を設置した。 ・各館室に対し意向調査を実施した。その内容を元に、除籍計画のとりまとめに着手した。 ・「資料収容力確保のための整理指針」の更新内容に従い、廃棄対象とできる製本雑誌のリストを作成した。 <p style="text-align: center;">(以上、令和 3 年 3 月 18 日、教育研究評議会での進捗状況確認内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「実務指針」を更新した (R3. 3. 31 付) ・意向調査の結果に従い、社会科学系図書館と自然科学系図書館で除籍計画を策定した。 <p style="text-align: center;">(R3 年 3 月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点実施館である自然科学系図書館では当面の除籍作業を達成した。(R3 年 11 月) 	
計画の進捗状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
<p>③ 自己点検・評価実施状況 (スケジュール)</p>		
・点検・評価の実施	・12 月 16 日 附属図書館運営委員会	
・評価結果の点検・評価	・1 月 13 日 評価委員会	
・対応措置の承認	・1 月 20 日 教育研究評議会	
・進捗確認	・3 月 17 日 教育研究評議会	

**附属図書館の施設及び設備に関する自己点検・評価結果を踏まえた
対応措置の実施計画の進捗状況
(改善・向上が必要とされた事項)**

※ 「改善・向上が必要とされた事項」が複数ある場合は、1事項につき1枚で作成下さい。

① 担当委員会 (担当委員会を■にして ください。)	<input type="checkbox"/> 大学教育推進委員会 <input type="checkbox"/> 施設マネジメント委員会 <input type="checkbox"/> 情報委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 附属図書館運営委員会 <input type="checkbox"/> 学生委員協議会 <input type="checkbox"/> 留学生委員会 <input type="checkbox"/> 入試委員会	
年 月	・令和3年12月 ・令和4年3月30日	
② 改善・向上が必要とされた事項 (記載にあたっては、NIAD「基準ごとの分析を行う際の手順等について」37-42頁をご参照ください。)		
内 容	コンテンツへのアクセス可能性を担保・拡充するために、冊子のみならず電子ブックを含めたリソース構築を目指す。(学生用資料整備に関する事項)	
根 拠	令和2年度神戸大学附属図書館年次報告	
計画の実施主体	附属図書館事務部	
対 応 計 画 (改善方策)	電子ブックの試行的導入を促進するため、R3年度予算で総合図書館と自然科学系図書館の2館に学生用資料費を重点配分した。 R3年度に神戸大学基金新型コロナウイルス感染症対策緊急募金(学生)から電子ブック拡充経費として2,400千円配分を受け、計222件(シラバス掲載図書216件、参考図書6件)を購入した。 EBA (=Evidence Based Acquisition、試用期間中の利用統計に基づき購入タイトルを選定)モデルによる電子ブック契約を促進した。	
計画の進捗状況	※現時点での状況を記載ください。 <input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
前回確認時 (R4.1.20教育研究評議会)からの 進捗状況	電子ブックの試行的導入を促進するための学生用資料費の重点配分について、総合図書館に配分した30万円は電子ブックリクエストキャンペーン(学生が購入電子ブックを選定する企画)の増額分に充当して42件(総額80万円で112件購入の内数)購入し、自然科学系図書館に配分した100万円で75件購入した。	
今後の予定	EBAについては今回R3年10月～R4年3月末を試用期間に設定し、4月以降に購入タイトルを選定する予定。 ※いつまでに、実行するかも含めて記載ください。	

③ 自己点検・評価実施状況（スケジュール）	
・点検・評価の実施	・12月16日 附属図書館運営委員会
・評価結果の点検・評価	・1月13日 評価委員会
・対応措置の承認	・1月20日 教育研究評議会
・進捗確認	・4月21日 教育研究評議会

※ 記載いただいた改善計画等については、自己評価書（別紙様式2-3-1）に盛り込む予定です。

**附属図書館の施設及び設備に関する自己点検・評価結果を踏まえた
対応措置の実施計画の進捗状況
(改善・向上が必要とされた事項)**

※ 「改善・向上が必要とされた事項」が複数ある場合は、1事項につき1枚で作成下さい。

① 担当委員会 (担当委員会を■にして ください。)	<input type="checkbox"/> 大学教育推進委員会 <input type="checkbox"/> 施設マネジメント委員会 <input type="checkbox"/> 情報委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 附属図書館運営委員会 <input type="checkbox"/> 学生委員協議会 <input type="checkbox"/> 留学生委員会 <input type="checkbox"/> 入試委員会	
年 月	・令和3年12月 ・令和4年3月30日	
② 改善・向上が必要とされた事項 (記載にあたっては、NIAD「基準ごとの分析を行う際の手順等について」37-42頁をご参照ください。)		
内 容	予算の縮減に対応して時間外及び土日開館業務の実施規模を見直す。 (開館サービスに関する事項・職員の配置と活用に関する事項)	
根 拠	令和2年度神戸大学附属図書館年次報告	
計画の実施主体	附属図書館事務部	
対応計画 (改善方策)	重点実施館を設ける一方、その他の館は実施時間を半分にする、業務委託は中止し学生アルバイト雇用に変更する、これらの措置により経費を縮減しつつ、より効果的な予算執行の確立を目指し、本年度第2回附属図書館運営委員会にて協議した。協議継続中。	
計画の進捗状況	※現時点での状況を記載ください。 <input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
前回確認時 (R4.1.20教育研究評議会)からの 進捗状況	R4年度以降の時間外及び土日開館について、本年度第2回附属図書館運営委員会に続き第4回附属図書館運営委員会において協議し、原案が承認された。R4年度開始時より原案の内容で実施することとした。	
今後の予定	事業経費要求の結果、時間外及び土日開館に係る予算措置を受け、それを充当した開館時間の拡大を、R4年度の途中より実施予定。 ※いつまでに、実行するかも含めて記載ください。	

③ 自己点検・評価実施状況（スケジュール）	
・点検・評価の実施	・12月16日 附属図書館運営委員会
・評価結果の点検・評価	・1月13日 評価委員会
・対応措置の承認	・1月20日 教育研究評議会
・進捗確認	・4月21日 教育研究評議会

※ 記載いただいた改善計画等については、自己評価書（別紙様式2-3-1）に盛り込む予定です。